

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-04-01		
施設名	荒川遊園				
所在地	西尾久六丁目35番11号				
部課名	子ども家庭部荒川遊園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成3年	5,052,575	—	—
	増改築①	平成6年	2,913,788	—	—
増改築②	—	—	—	—	—
併設施設	—				
竣工年月日	—		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	—		職員数	8人 委託業者	
構造	—		階層	—	
面積	敷地面積		54,319 m ²		
	延床面積		— m ²		
設置目的・経緯	都内唯一の区立遊園地として、多くの利用者にゆっくりと安全安心に楽しんで頂く施設として開園した。				
関連部署	—				
根拠法令等 設置条例	都市公園法、荒川区立公園条例及び同条例施行規則				
駐車場の状況	114台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	約100台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から	
				—	まで	
事業内容	総面積54,319m ² (A地区(有料地区):31,466m ² 、B地区(プール):5,234m ² 、C地区(地下駐車場):14,141m ² 、D地区(荒川遊園拡張地):3,479m ²) 【事業内容】①遊園地の管理運営(遊戯施設、釣堀、動物広場、下町都電ミニ資料館、売店(2か所)ほか②子どもプールの管理運営③都市公園維持管理等					
対象者	—					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時(学校の長期休業期間及びGWの日曜、祝日は午後6時まで)				
	休日	火曜日(火曜日が祝日の場合にはその翌日)				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	入園者数(人)	404,002	417,549	313,266	—	—
	子どもプール(人)	23,930	21,069	25,015	16,035	—
	地下駐車場(台)	33,221	33,155	28,962	16,800	17,000
	釣堀利用者数(人)	43,000	42,806	32,221	—	—
	大型遊戯施設利用者数	1,035,174	1,068,948	720,046	—	—
	入園料収入(千円)	38,664	39,311	28,370	—	—
	乗物券、小型遊具等収入(千円)	167,717	174,801	119,470	612	400
	子どもプール収入(千円)	5,665	4,995	5,968	3,760	—
地下駐車場収入(千円)	23,122	23,152	18,952	7,551	7,500	
に指定管理 用等費用						
備考	お客様サービスの向上や新規イベントの実施など地道な取り組みにより、平成25年度以降、入園者数が継続して増加している。令和4年春のリニューアルオープンに向け、平成30年12月から休園し、改修工事を進めている。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度のプール営業は中止とした。					

III 財務諸表

					(単位:千円)			
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	59,668	47,377	▲ 12,291	地方税等	0	0	0
	物件費	220,162	81,499	▲ 138,663	国庫支出金	558	0	▲ 558
	維持補修費	21,340	11,736	▲ 9,604	都支出金	0	1,948	1,948
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,711	31	▲ 1,680	使用料及び手数料	191,617	12,037	▲ 179,580
	減価償却費	89,136	86,133	▲ 3,003	その他	8,802	450	▲ 8,352
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	200,977	14,435	▲ 186,542
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,402	2,200	▲ 202	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 322,878	▲ 347,418	▲ 24,540
	その他行政費用	129,436	132,877	3,441	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	523,855	361,853	▲ 162,002	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 322,878	▲ 347,418	▲ 24,540
	特別費用(g)	2,411	22,787	20,376	特別収入(f)	1,986	0	▲ 1,986
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 425	▲ 22,787	▲ 22,362	当期収支差額(e)+(h)	▲ 323,303	▲ 370,205	▲ 46,902
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	収入未済	0	0	0	流動負債	2,402	2,200	▲ 202
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	4,499,772	4,396,643	▲ 103,129	賞与引当金	2,402	2,200	▲ 202
	土地	3,492,523	3,492,523	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	3,307,324	3,202,315	▲ 105,009	固定負債	23,055	14,225	▲ 8,830
	建物減価償却累計額	▲ 2,308,826	▲ 2,311,948	▲ 3,122	特別区債	0	0	0
	工作物等	1,600,466	1,606,257	5,791	退職給与引当金	23,055	14,225	▲ 8,830
	工作物等減価償却累計額	▲ 1,591,715	▲ 1,592,504	▲ 789	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	25,457	16,425	▲ 9,032
	建設仮勘定	483,292	1,143,469	660,177	正味財産	4,957,607	5,523,687	566,080
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	4,957,607	5,523,687	566,080
資産の部合計	4,983,064	5,540,112	557,048	負債及び正味財産の部合計	4,983,064	5,540,112	557,048	
備考	平成30年12月から休園し改修工事をしているため、費用面では遊戯施設や動物飼育の委託がなくなり物件費は大幅に減少する一方で、収入面では、入園料や乗り物利用料がなくなったため大幅に減少している。その他行政費用は、30年度は大型遊戯施設等の撤去工事、令和元年度は建築物等の撤去工事に要した費用が主なものである。							

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	76	78	80	81.2	80
	施設1㎡当たりのコスト(円)	9,177	9,835	10,304	7,117	7,000
	来園者1人当たりのコスト(円)	1,155	1,198	1,672	—	—
	開園1日当たりコスト(円)	1,462,530	1,567,492	1,642,179	—	—
	受益者負担比率(%)	56	54	37	3.3	3
備考	30年12月から休園し改修工事を行っているため、令和元年度・2年度は使用料収入がほとんどない一方で、工事費の支出や園内の維持管理費用が発生しており、受益者負担率は大幅に下がっている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
目標指標	指標名・単位	目標値	—	—	420,000	—	—
	年間利用者数	実績値	391,201	404,002	313,266	—	—
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ	小さな子ども連れの子育て世代を中心に、ゆっくりと安心して楽しむことのできる施設としてニーズが高い。						
現状・課題	<input type="radio"/> 子育て支援施設及び観光振興施設として、子ども連れの家族を中心に、区内外から多くの利用者が訪れ、地域の方々からも長年親しまれている施設であり、リニューアルについての関心度も高い。 <input type="radio"/> 休園期間中、荒川遊園の知名度を維持していくとともに、リニューアルに向けた期待感を醸成していく取組が必要である。 <input type="radio"/> リニューアルオープンに向け、開園時間の延長について検討していく必要がある。 <input type="radio"/> 安全安心の運営により重大事故ゼロを継続していくため、更なる安全管理体制の強化を図る必要がある。						
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 休園期間中においても、アリスの広場でのイベントや子どもプールにおける小型遊具の運営等を行うことで誘客を促進するとともに、ホームページ等により進捗状況を情報発信することで、リニューアルへの期待感を醸成する。 <input type="radio"/> リニューアルオープン後の開園時間延長時間や時期について、利用者の動向等を踏まえ、検討していく。 <input type="radio"/> 荒川遊園見守り隊及び安全管理委員会を中心とした安全管理をさらに推進、徹底していく。						
議会、利用者等からの意見	平成28年度予算特別委員会 ○改修期間中の閉園区域○一球さん号、スワンの池、クラフトハウスの有効活用○植栽、花のコンテナの全面的な見直し○イルミネーション設置○夜間営業に向けた営業時間の見直し○リニューアルに合わせた入園料の見直し⑦来園者を遊園周辺へ回遊させるべき方策等○旧小台橋小跡地の遊園拡張用地の活用(子育て支援の森に)						

